



新潟県立長岡工業高等学校同窓会 東京支部会報

東京支部だより

第 22 号

発行人：支部長 金井 博光

編集：会報編集委員会



昭和 46 年（1971 年）当時の母校

母校も創立 122 周年目を迎えました。昭和 46 年当時の校舎はまだ木造建築でした。創立 120 周年には長岡祭りで記念花火を打上げました。

世代は繋がる

心が結ばれる

同窓の絆は永遠に



記録 創立120周年記念花火

寄稿 岡小千谷煙火興業 代表 瀬沼輝明

新潟県立長岡工業高等学校同窓会 東京支部

ご挨拶

支部長 金井 博光(S44M)



母校の同窓会には大別して3種類の組織が存在しています。学校に隣接する建物「長工会館」に拠点を置いている同窓会の本部、同窓生が数多く勤務している会社内の職域での同窓会、地域ごとに発足した同窓会があります。東京支部は地域同窓会の一つとなっております。他にも東海支部、関西支部、新潟支部等があります。

同窓会本部では「長工大賞」への対象者を選出し、毎年開催される本部の「総会・交流懇親会」行事において功績を称えております。

多くの受賞者は経験の積み重ねの中で成し遂げられた功績について表彰されておりますが、中には現役の生徒や卒業して間もない同窓生にも与えられています。

東京支部の会員が表彰される時は長岡に招かれ、同窓会長からの表彰を受けることになります。昨年(令和5年9月)では、全体で4名の方が受賞されました。内3名が東京支部の会員となっております。他1名の方は平成31年に産業デザイン科を卒業された方で、現在も作業中の案件で表彰されております。

表彰された方や受賞内容につきましては本部のホームページ、及び東京支部のホームページに掲載されています。支部のホームページでは支部会員の受賞者を紹介させていただいております。最近受賞された方から支部独自の内容も盛り込んでおります。

長工大賞の意義は、「マスコミに掲載されることのない出来事の中にも、誇れる成果をお持ちの同窓が多くおられ、その方々を表彰することで、功績を認め称賛したい」という想いが中心となっております。長工大賞が発足して11年(母校創立110周年記念より発足)が経過しております。

そこで、ご相談となりますが、皆様ご自身を含め、周囲に功績を残されながら表に出ておられない同窓がおられましたら、是非とも支部役員の耳に届けていただきたいと思います。従事されていた仕事上でのご活躍を含め、地域活動や、支援活動等で活躍されている方も長工大賞受賞の対象者となります。

ご自身で努力され達成されている方、世のため人のため、に活躍されている方を是非ともご紹介ください。支部として本部へ推薦させていただきます。東京支部のホームページを介して推薦を依頼することもできます。お知り合いの役員経由も大歓迎です。締め切り日は設けておりません。いつでもお引き受けさせていただきますので、皆様からの推薦をお待ちいたします。

支部活動に必要な年会費は、従来を超えたご協力により収支が均衡した状態となっております。高齢化が避けられない今日ですが毎年のように退会者が継続される中、収入維持となっております。これは支部を運営しております役員にとって、心の大きな支えとなります。会費納入の減少傾向が続くと同窓会活動への新たな挑戦よりも、縮小の方向に舵を切ることになります。これが避けられていることは活動への励みとなっております。3年間、支部の活動を控えさせていただいた間に蓄積された繰越金は、「会員と役員の増強策」を含めたこれからの活動資金として活用させていただきます。皆様からの年会費納入に関し、心強いご配慮をいただき誠にありがとうございます。

さて、コロナ禍で長期に渡り中断しておりました支部の「総会・懇親会」ですが、昨年(令和5年7月)は4年ぶりに開催させていただきました。待ちに待った同窓との再会に大きな喜びを感じることができました。年齢が高まるにつれ、会場まで足を運ぶことが困難な方もおられ残念な場面もありますが、参加された皆さんの元気な姿を拝見し「開催を決定して良かった」と感じております。

今年(令和6年)も7月6日(土)に「総会・懇親会」を計画させていただきました。同窓会を運営している者として、一番うれしい場面は会場で皆さんとお会いできることです。会報誌「東京支部だより」の発行や、ホームページによる情報発信は、すべてが「総会・懇親会」の場で皆様にお会いできることを楽しみに、役員一丸となり活動した結果となっております。

「是非とも足を運んでいただけたら」と願いつつ、会場にてお待ちしております。

◆*

新潟県立長岡工業高等学校 校長 長井 英幸

A large group of students and staff are gathered in a gymnasium for a welcome ceremony. A banner at the front reads "祝 入学おめでとう" (Congratulations on enrollment). The students are standing in rows, and the gymnasium has a high, vaulted ceiling.

A large group of students in dark uniforms are seated in bleachers at a night event. The students are mostly looking forward, and some are wearing face masks. The background shows a red and white striped awning and a metal railing.

＜令和5年度 入学式の様子＞

- 開かれた学校づくりで、学校の良きパートナー、サポーターとして連携を図る。

最後になりますが、長岡地域の産業の担い手は、本校の同窓会の皆様が担っていると考えております。今後とも後輩のために、変わらぬご支援とご協力をいただきまようお願い申し上げます。



長工同窓会の未来創造

同窓会本部 事務局長 三川 俊克(S50e)

日ごろから長工同窓会の事業運営に格別なご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和 4 年 4 月から事務局に勤務して以来、あっという間に 2 年が経ちました。

令和 4 年度は、「母校創立 120 周年記念事業」の準備業務に没頭する日々でしたが、お陰様で記念式典・交流懇親会、母校への教育機器寄贈（大型スクリーン・高精度プロジェクター、小型ロボット、CNC フライス盤）など、記念事業を無事に終了することができました。これも東京支部をはじめとした県内外の同窓会員並びに関係者の皆様からの多大なご支援・ご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

令和 5 年度は、7 月 1 日に「東京支部の総会・懇親会」が開催されてお招きをいただき、9 月 9 日に「会員総会・交流懇親会」を開催（例年は 6 月開催）させていただきました。いずれもコロナ禍の影響で令和元年度以来 4 年ぶりの開催でした。

さて、母校に目を向けてみますと、自分たちの頃は木造校舎で男子生徒ばかりのバンカラな校風でしたが、現在は女子生徒が相当数を占め、校舎も新しくなってハイカラな校風に様変わりしたように感じています。また、卒業後の進路をみても、自分たちの頃は「就職 8～9 割・進学 2～1 割」でしたが、現在は「進学 6 割・就職 4 割」とのことです。

昨今の少子化による生徒数・学級数の減少と相応して、進学割合が増加（母校を最終学歴校とする者が減少）したことで、母校に対する想いや愛着心の希薄化が感じられ、これらが同窓会離れの要因のひとつとなっているのではないかと推察されます。

今後も同窓会活動を継続していくためには、卒業生の同窓会に対する想いや愛着心の醸成が必須と考えますので、忌憚のないアドバイスを頂戴できたらありがたいです。これまで諸先輩方が築き上げてこられた母校の伝統や産業界での活躍が現在も卒業生の進路（就職先）の礎となっています。優秀な人材（卒業生）が社会に出て大いに活躍してもらえるように、産業界とのつなぎ役や卒業生との橋渡し役が我等長工同窓会の大きな使命のひとつと考えています。

引き続き、相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



令和 5 年度(2023 年)総会・懇親会報告

総会・懇親会担当統括理事 宮田 隆(S32E)

久しく中止を余儀なくされていた総会・懇親会は満を持して令和 5 年 7 月 1 日オーラムにて開催されました。同窓生 64 名、来賓 5 名のご参加をいただきました。母校より長井学校長、同窓会本部より山下会長、三川事務局長、若波会の藤下会長、歌手の舞さくらさんです。尚、恒例となっている相互参加の村松高校の同窓の皆さんは今回不参加でした。

第 1 部の総会は、マンドリン同好会の伴奏の校歌斉唱で開会、来賓のご挨拶の後に活動状況報告、会計監査報告、役員改選などが計られ、続いて同窓会本部の提供により、母校 120 周年記念の大花火動画が上映されました。動画は令和 4 年の 8 月 3 日の長岡花火大会で同窓会がコラボで提供した超大型スーパーベスビアスで、しばし故郷の夜空に思いを馳せました。続いてマンドリン同好会による演奏が行われ、しばし聞き惚れました。

そしていよいよ第 2 部懇親会です。樋口昭顧問 (S29E) の乾杯に始まり各テーブルでは近況報告、



在校当時の思い出、在職中の苦労話、世界情勢など話は尽きません。程なくアトラクションとして舞さくらさんによる演歌、そしておなじみの若波会の皆さんによる両津甚句、相川音頭など懐かしい歌と踊りが続き、若波会先導で、恒例の佐渡おけさの輪踊りが復活して大いに盛り上がりました。終宴の時刻が迫る中、コーラス部の主導で勝利の歌を合唱し、令和 6 年の再会を約し会場を後にしました。

今回は、3 年のブランクのために参加者の減少が危惧されましたが、多数の申込をいただき同窓生諸兄の期待の大きさを知らされ、安堵の胸をなで下ろしました。総会・懇親会の中止は 3 年にも及び、この間の状況は「東京支部だより」に縷々書いております。令和 2 年 7 月予定の総会・懇親会は、新型コロナウイルス感染者の増加が 2 月頃から顕著になり、対策も限られることから、ついに中止と決定されました。4 月 7 日に緊急事態宣言発出、令和 3 年 1 月に又々、緊急事態宣言発出、延長、再延長となり、令和 3 年 7 月に予定の総会・懇親会も、実施断念となりました。東京オリンピックも 1 年延長の上に、無観客開催となったことは残念な記憶となっています。令和 4 年 7 月に予定の総会・懇親会は状況の改善はあるものの実施は時期尚早との判断で残念ながら中止と決定されました。

総会・懇親会は折角お集まりいただく会員の皆様が楽しくお過ごしいただくために会食や、密で会話が行えることが重要かつ、安心して会場にお出でいただける必要があります。何気ない日常がこんなに脆いとは思ってもいなかったことです。3 回連続での休止で、これ以上休止が続く事態はいかにしても避けたいとの思いで、役員一同が努力し、実施に至った次第です。



特集記事 長工大賞と私

「長工大賞」をいただいて

松永 巖(S20M)

期せずして「長工大賞」をいただき感謝している。数々の業績はその時々ので与えられた業務を遂行しただけのことである。抑々技術には与えられたデータにより、人・金・物を要領良く活用して製品を作る製造と将来の见えない物を予想して、世にない物を創造する開発とに区分される。日本も且つては先駆者として新製品を開発した時代もあったが過去数十年は量的拡大に支えられ、安価な物を求める方向に走り、開発が疎かになったため今や三流国に成り下がった。

これからの技術はスケールの大きい、先を夢見て奇想天な発想ができるようになって貰いたい。たとえば「砂漠に雨を」「異常気象の改変」「空飛ぶ車」「旅客ロケット」「電池の超小型化」「瀬戸内海と日本海の開通」「マレー半島を貫く海路」等どれも個人や一国で出来る物ではなく、地球規模で進めなければならないが、今何の国のリーダーも自国は愚か、自分の利害だけしか考えてないような者ばかりで情けない気がする。国境を超え、民族や宗教の壁を取り払って全世界が地球の幸福を考えるようにならないものだろうか。

自分は歳を取り過ぎた。若いもの者が集まってこのような問題を議論することから始めてはどうであろうか？千里の道も一歩からと言うが、まごまごして居る中に地球が亡びる方が早いかも知れない。時間がない！頑張れ人類の若者よ！地球の運命は君達に掛かっている!!

◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*

不運と幸運 —— 回想 ——

井上 靖秋(S39e)

長工卒業後、旧東京三洋電機に就職、トランジスタ回路技術開発が社会人のスタートだった。趣味でマンドリン演奏活動も始め、その道の第一人者に師事した。演奏家を夢見てマンドリン独奏コンクールに挑んだが、本番で実力を発揮できず予選落ちした。全く想定外の不運であった。仮にここで演奏家への道を歩んでいたら、以下の思いも寄らない幸運の連鎖は起こり得なかった。



それ以降は本職に専念した、集積回路開発関連で社長賞など多数受賞、高卒では希なことだ。転

※金井伸弥氏は長工同窓会東京支部長のご子息です。

幟建 柳合 (幟建 友里：のぼりたてゆり)

皆様のご健康とますますの支部のご発展を祈っております。

【Profile】

幟建友里 フルート奏者

武蔵野音楽大学フルート専攻科首席卒業

東京都内を中心にソロやアンサンブルで演奏活動を積極的に展開中

武蔵野新人演奏会

第 35 回フルートデビューリサイタル出演

第 16 回フルートコンベンション In 高松 アンサンブルの部金賞 (1 位) 受賞

第 2 回チェンマイ・ヒナステラ国際音楽祭 コンクール Honorable Mention 受賞

その他国際コンクール多数受賞

【オリジナル CD album】

～Flute と Piano のための～suite (組曲)

1. March
2. Action
3. Waltz
4. Judge
5. Inspiration



新役員紹介

電子科実習の思い出

総会・懇親会担当理事 速水 均(S48e)

このたび、長工同窓会東京支部運営のお手伝いをするようになりました。先輩役員諸氏のご指導を仰ぎながら、微力ですが東京支部と母校の発展にお役に立てればと思っています。

私は長工卒業後、公衆電話機メーカーへの入社と同時に、大学の理工学部（夜間部）に入学し、4 年間、二足の草鞋を履きつつ、会社では公衆電話機や情報機器のハードウェア開発に従事しました。27 歳の時、構内交換機(PBX)に興味を沸き、PBX を製造販売する中堅通信機メーカーに転職しました。25 年ほど、PBX を中心に通信機器の方式・基本設計とソフトウェア開発に携わりました。

52 歳になった時、思い立って会社を卒業させてもらい、独立しました。その後、主にソフトウェア開発の受託を行い、現在に至っています。50 年近くを技術者として歩めたのは、上司や同僚及び客先関係者に恵まれたことや母校で受けた教育のおかげと思っています。当時の母校電子科教育で印象に残っていることが二つあり、以下に紹介します。今、思い返しても良い環境でした。

●電子科実習レポート

実験結果が予測範囲でも、範囲外でも吟味を行い、なぜそうなったかを考察に書け。

●日立製ミニコン HITAC-10 プログラミング実習

コンピュータの基本原理の授業や FORTRAN プログラミング実習は本当にワクワクしました。

3 年生の時、万年カレンダー印刷アプリを作りたくなくて、ある日の放課後一人夢中でプログラミング。なんとかその日のうちに完成し、万歳！

結局、長工時代の影響をもろに受けた形で、仕事は IT 分野の開発一筋でした。もうしばらく仕事した後、リタイアとなりますが、リタイア後は、自作 DC アンプのお守りをしながら、1960～1990 年代の ROCK のレコードや CD を聴きまくり、冬はスキーをやろうとひそかに決意しています。



自作真空管アンプ[DC プリ+DC メイン]



記録的な猛暑、残暑から一段落して当日は秋の快晴に恵まれて最高のゴルフ日和でした。

今回は長岡本部の同窓会 OB 会ゴルフ会にも参加を働き掛けましたところ、本部からご多忙中にもかかわらず長岡本部ゴルフ会会長を含む 3 名の参加ご協力をいただきました。過去 22 回コンペの長い歴史の中での初めての交流戦でした。今後更なる発展に繋がればと期待しています。

成績発表パーティーでも本部会員、東京支部会員とともに楽しい会話で締め括りができたこと、大変有意義な 1 日でした。



会員だより

随想

顧問 樋口 昭 (S29E)

第 22 号「東京支部だより」の色彩発刊は素晴らしいことである。発刊当時は継続発刊の是非の議論があった。経過とともに色彩発行も議論されたが、体裁より内容の充実を期する等で白黒の発行であった。色彩発刊は時代とともに、多様化する価値観の創造であると思う。



世界人民共通の重要課題は、地球沸騰化時代と言われる温暖化に伴う地球レベルの気象である。以前にも憂いを記したが、深刻な状態が激増の議許にあり、再び憂いは募る。氷河融解、海水面の上昇、積雪、融雪水減少等の自然保水能力の低下が報告されている。降水に関しては、豪雨、豪雪、時間的降水の記録が驚異的に更新され、やがて干ばつ、洪水による気候避難民が出て来る。

主なる原因は、二酸化炭素(CO₂)の排出である。脱炭素の時代は全世界が心をついて立ち向かわねばならない時に、国家間、宗教間、民族等の対立がますます激化していることは、人間の愚かさを感じる。地球には国境はあるが天には国境はない。心を広く持て。

脱炭素の指導、強制は「気候変動枠組条約」(COP)しかないのか。国連で専門機関を作り、世界的に強制指導を望む。COP に参加している国、地域は 197 であるが、それぞれ自国の利益を優先し、その実行性は期待できない。

温暖化防止のカーボンニュートラルの実現目標は、CO₂ 排出量の多い中国(世界全体の約 30%)が 2060 年、米国(同約 15%)が 2050 年、日本(同約 3%)は 2050 年である。幾多の困難を乗り越えて早期実現を望む。

我が国では脱炭素は当然のこと、産学官共同で排出炭素の処理技術の開発、核エネルギーのリスク対応、新エネルギーの開発が急務である。ゲリラ豪雨による甚大災害の防止のために流域の森林管理、水田等の保水能力の拡大、精度の高い降雨予測による治水、利水ダムの総合的管理運営、広域的な水運用の実現などを望む。極論：九州の水を青森へ。「日本雨水資源化システム学会員」として心が馳せる。

コロナ終息後、AI 実用期に入った現在、多くの知恵が期待されると同時に偽りの情報も拡散する。「AI は正しい」と思う危うさ。「AI を作る人」「AI を使う人」「AI に使われる人」「AI を使えない人」、人間の賢さが問われる。AI から得た情報を使用した結果は、すべてが自己責任である。

東電福島原発の「処理水」が海へ放出される。この放出水は海水中トリチウム濃度 22 ベクレル以下であり、放出停止は 700 ベクレル(世界基準)を大幅に下回っているにもかかわらず、中国は「日本は全世界に核汚染のリスクを転嫁した」と批判している。これがいまだに中国の国民性である。戦時中の「オイッ、支那人」に思いをする。・・・三つ子の魂百まで。

時代が変われども尊い日本の伝統文化、道徳、武士道の厳守、伝承を望む。社会構造の改革と共に同窓会の目的の多様化が強られるが、120 余年の伝統ある「母校の教育方針の支援」は継承しなければならない。

ここに東京支部の発展を願い、母校、本部のますますのご隆盛をご祈念申し上げます。
長工健児此処に在り。国の栄をいざ図れ。

◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◇*◆*◆*◆*◆*◆*◆*◆*◆*◆*

ベートーヴェンに乾杯！

ホームページ担当統括理事 奈良場 慶三(S46E)

お気に入りの曲の中でも「田園」や「第九」を聞く度に、かつてウィーン郊外のハイリゲンシュタットを訪れ、ベートーヴェンが暮らした「遺書の家」でベートーヴェンのピアノに触れ、ホイリゲ「マイヤー」でワインを飲んだことを思い出し、ベートーヴェンを身近に感じることができます。ベートーヴェンはボンに生まれましたが、音楽家としての半生のほとんどをウィーンで過ごしています。かつて温泉保養地だったこの地域で、聴覚を失いつつあるベートーヴェンが療養のために住んでいたアパートが「遺書の家」として現在博物館になっています。作曲家として、どんどん聞こえなくなっていく耳に絶望し、死を考えたベートーヴェンが遺書を書いたことから「遺書の家」と呼ばれています。博物館の周りはブドウ畑が広がる田園風景があり、近くにベートーヴェンの散歩道「ベートーヴェンガング」があります。



遺書の家



ベートーヴェンガング



ホイリゲ「マイヤー」

天気の良い日は毎日、ベートーヴェンはこの小路を散歩して、交響曲第六番「田園」の構想を練りました。散歩道の途中には、ベートーヴェンの胸像があります。

そして、ホイリゲ「マイヤー」で「第九」を作曲したと言われています。

ホイリゲとはワインの新酒を意味すると同時に「新酒を飲ませてくれるワイン造り酒屋」を意味する言葉とのこと。この「マイヤー」でベートーヴェンも飲んだ(?) 美味しいワインをいただきました。ベートーヴェンに乾杯！



対外交流

価値観の多様化

東京新潟県人会 常務理事 樋口 昭(S29E)

世界 2 か所で戦闘状態等、緊張が続く辰歳となりました。先ずはウクライナに平和の前に「勝利」であること。

コロナ終息後急速に社会構造の変革が進み、AI 全盛の時代となりました。「誠」「正義」「人間性」が問われる時代です。過去の常識が非常識になることもあり価値観が多様化します。



戦後「豊かさ」に価値観を求め現代は「楽しさ」に価値観を求める時代です。価値観は人の「悦＝よろこび」「幸」です。「喜＝よろこび」は他から与えられる「よろこび」です。たとえば物を貰った、褒められたなど。「悦」は自ら求める作る「よろこび」です。多様化する価値観の創造は異文化吸収です。この道一筋の美学もあるが、別世界を知ることには実益があると思う。

長工東京支部は、組織と個人で新潟県人会に参加いたし価値観の創造に努めております。新潟県人会の主なる行事は新年祝賀会、納涼大会、芸能大会、作品展、文化講演会などであり、長工東京支部は故郷の伝統芸能「若波会」と「若長会」を結成し親交を深めるなど、各種各界と交流いたし見聞を広めると共に、長工東京支部をPRいたしております。

今話題になっている政経パーティー、自民他党、地方議員なども出席いたし見識を改めております。その実態はマスコミ情報と真実の相違を感じる。長工東京支部には「三無い原則」がありその内容は秘します。「三無い原則」は①特定の政治活動はしない。②特定の宗教活動はしない。③特定の企業を支援しない。時代錯誤の言を愧じる。愚老、十万八千里の弥陀ヶ岳の登頂も間もない。

長工東京支部の発展、母校本部の隆盛を祈る。

越後長岡ふるさと会

副支部長 原 勝英(S46M)

我が長工同窓会東京支部と越後長岡ふるさと会との付き合いは、前支部長の樋口昭様に長岡市の越後長岡ふるさと会事務局（地域振興戦略部）より連絡が来たと聞いております。その創立総会、懇親会が開催されたのが、平成 27 年 5 月 31 日上野東天紅で長工同窓会東京支部から 21 名が参加しました。越後長岡ふるさと会には 20 団体が参加し当日は来賓を含め 300 名近くの方が参加され盛大に行われました。中でもミ・アモーレプロジェクトとして「故郷はひとつ」の長岡応援歌を阿木燿子作詞宇崎竜童作曲の曲が披露され、阿木燿子様本人も長岡応援団として出席されました。



越後長岡ふるさと会の年間行事は、総会・懇親会、ふるさと会フェア、長岡探訪ツアーの3本柱で会の運営が行われております。中でも私が楽しみにしていたのが「長岡探訪ツアー」です。平成28年2月13日、14日の第1回から平成29年、平成30年までの3回。令和2年の第4回はコロナウイルス感染の観点から中止になりました。高校時代は現在の長岡地域の8割以上訪ねたことがなく、改めて長岡地域を振り返ることができました。万感の思いにつかりました。ただ残念なことは、第4回の「長岡探訪ツアー」の蓬平温泉、山古志、翌日長岡を巡る内容です。私の田舎の良さを会員に知っていただく良い機会でしたが、残念ながら、コロナにより中止になりました。令和5年にはコロナの感染症が2類から5類になり、久々に「長岡探訪ツアー」第5回の開催の案内が来ましたが、残念なことに事務局より参加者が12名しか集まらず中止の連絡が来ました。残念無念。

しかし、総会・懇親会、「越後長岡ふるさと会フェア」の第6回目が開催され、我が長工からも参加いたしました。昨年より「越後長岡ふるさと会」の役員を仰せつかり、今後の活性化に尽力して参りたいと思いますので、是非皆さんのご協力をお願いします。

村松高等学校との交流会の開催

同窓会窓口 事務局長 成田 修(S44M)

3月20日(祝)、対外交流団体である村松高等学校(以下”松高”と記す)東京同窓会の役員と当支部の役員との交流会を新潟県人会館で行いました。この交流会は両同窓会が1年交代で幹事を担当して毎年2月頃に実施しており、今年は松高が幹事で開催する年となっていました。松高は金子相談役、大橋会長以下、男性役員7名、女性役員6名の計13名の参加に対し、当支部は樋口顧問に参加していただき、永井理事長他4名の役員が入り、総勢6名と少な目の参加でした。会は昼食時間帯にも重なっていたた



め、松高が手配した幕の内弁当を食べた後、ビールや酒が入っての意見交換会で話が盛り上がりました。松高も総会への参加者が少しずつ減少している傾向のようであり、過去に開催していた会場(パレスホテル)から新潟県人会館へ昨年度から会場を変更しており、参加会員の減少という面では当支部と同じ悩みを抱えているようです。当支部においても役員も含めて会員の高齢化に伴い、総会参加会員が減少しつつある現状であり、今後とも松高とは情報交換や相互協力をし合いながら同窓会活動を続けて行きたいと考えております。

「桶口昭様とキルトと私」

若波会会員・新潟県人会会員・キルト作家 鎌滝 津江子

人との出会いは様々で、その時々感慨深い想いをします。私は佐渡の玄関口両津に生まれ、高校生まで過ごしました。高校生までは“針”を持ったことはなく本を読み耽るような日々でした。

私は四十歳初めの頃から「キルト」を制作し始め、35 年が過ぎました。長きに





令和 5 年度寄付者一覧(敬称略)

No.	会員番号	氏名	金額	No.	会員番号	氏名	金額	No.	会員番号	氏名	金額
1	S20M0460	松永 巖	3,000	16	S34W0170	島田興五郎	3,000	31	S44M030B	成田 修	1,000
2	S25M0370	疋田 精俊	5,000	17	S34C0340	星野 卓史	2,000	32	S44M038B	横山 実	10,000
3	S28M023A	土田 進	3,000	18	S34M008A	大渕 平佑	1,000	33	S44M038C	山崎 正二	3,000
4	S28W0290	並木 政治	8,000	19	S36E0140	川村 吾一	3,000	34	S46e0240	野崎 敬策	8,000
5	S29E0360	樋口 昭	3,000	20	S36E0370	星 富夫	3,000	35	S46M003D	今井 広	3,000
6	S29E0260	土田 弘明	1,000	21	S36M010A	河野 末次	1,000	36	S46M027A	原 勝英	3,000
7	S30M037B	矢久保篤司	8,000	22	S37e0280	高橋 大二	3,000	37	S46E017B	佐藤 満	1,000
8	S30E0300	藤田智三郎	1,000	23	S37e0150	木間 勝	3,000	38	S46C0270	田村 耕一	1,000
9	S30E0330	星 清善	1,000	24	S37M011B	中村 秀和	1,000	39	S46M014D	児玉 幸一	1,000
10	S31W0120	片桐 謙一	1,000	25	S38W0010	相澤 功	1,000	40	S46M020C	塩入 晴夫	1,000
11	S31E0080	大関 稔	1,000	26	S39M031A	堀 清市	1,000	41	S48e0260	速水 均	10,000
12	S31E0240	近藤 宗一	1,000	27	S40C0130	加藤 智	3,000	42	S48E026B	永見 健治	1,000
13	S31E0220	高坂五郎作	1,000	28	S41E014A	桑原 克己	6,000	43	S49M005A	伊佐 隆夫	1,000
14	S32E0370	宮田 隆	3,000	29	S42M025D	白井 等	1,000	合計：121,000			
15	S33E0390	山川 昭男	3,000	30	S43E044B	若月 明	2,000				

◆*

令和 5 年度(2023 年)計報 (2024 年 3 月 31 日現在) 名簿担当統括理事 塩入 晴夫(S46M)

次の方々について、ご逝去の連絡がありました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒業年	修業科	会員 No.	お名前	ご逝去 年月日	備考
昭和 26	機械	S26M0130	黒崎 徳松	令和 5 年 4 月 26 日	
昭和 27	機械	S27M0020	池田 謹治	ご逝去日不明	
昭和 27	染色	S27W0160	斎藤 友蔵	令和 5 年 3 月 11 日	
昭和 30	工業化学	S30C0330	星野 弘明	令和 5 年 7 月	
昭和 31	機械	S31M006A	板屋 毅	令和 5 年 1 月 14 日	
昭和 32	機械	S32M013B	小泉 幸夫	令和 4 年 12 月 14 日	
昭和 32	機械	S32M027A	平沢 力	令和 5 年 9 月 4 日	
昭和 32	機械	S32M038B	山波 豊	令和 5 年 10 月 2 日	
昭和 33	染色	S33W0340	長橋 久美夫	令和 5 年 5 月 7 日	
昭和 34	電気	S34E0370	福原 学	令和 4 年 12 月 25 日	
昭和 36	電気	S36E0360	帆刈 明夫	令和 5 年 5 月	
昭和 36	機械	S36M023B	柴木 俊雄	令和 5 年 5 月 20 日	
昭和 36	染色	S36W0040	稲田 義夫	令和元年 12 月 12 日	
昭和 37	電子	S37e0130	小島 洋	令和 5 年 12 月 9 日	
昭和 38	電子	S38e0420	宮 隆雄	令和 5 年 5 月 8 日	
昭和 39	工業化学	S39C0300	畠野 四郎	令和 4 年 12 月 1 日	
昭和 46	電気	S46E025B	竹津 弘幸	令和 5 年 4 月 25 日	

◆*

支部運営 一喫緊の課題一

事務局長 成田 修(S44M)

令和 5 年になってコロナが若干落ち着いてきたこともあり、4 年ぶりに 7 月 1 日(土)に総会を開催することができました。しかし、年々参加会員が減少してきていることもあり、参加者は来賓も含めて 70 名程度となってしまいました。また、支部運営の面におきましても役員の高齢化に伴い、散発的に退任要望をされる役員が出ている現状です。

現在、4 役員(支部長、副支部長、理事長、事務局長)でいろいろと対応を検討中ですが、なかなか良い案が出ておりません。そこで、現役員の更なる支援の強化(積極的な支部業務への参加)と一般会員各位の役員応募を切に期待したいと考えています。

現役員の皆さんには多くの場面でご協力いただいておりますが、更なる活性化に向けてお手伝い

毎年、総会にご参加いただいている一般会員の皆様も是非とも伝統ある長工東京支部の維持、存続のためとご理解いただき、何卒お力添えをお願いしたいと思います。何かご連絡がございましたら事務局・成田(Tel：044-766-7636)までお願いいたします。令和6年度も同窓生各位が一堂に集まり、総会、懇親会において同窓の絆を更に強くすることができることを祈念したいと思います。

ホームページ担当統括理事 奈良場 慶三(S46E)

ホームページ更新件数

年	更新件数
2010年	9
2011年	21
2012年	10
2013年	7
2014年	10
2015年	9
2016年	12
2017年	13
2018年	35
2019年	34
2020年	24
2021年	24
2022年	62
2023年	56

ているにも関わらず、62 件と過去最大の更新件数になっています。これは松永先輩の投稿に加え、新たに野崎さんの投稿《人生の回想》が件数増加に貢献しています。2023 年は少し自粛が解除されイベント投稿もありましたが、お二人の連載投稿により 56 件となりました。会員皆様の投稿をお待ちしています。



広報・記録担当統括理事 野崎 敬策(S46e)

7月第一週の東京支部総会・懇親会に皆様とお会いできることを楽しみにしております。

東京支部ホームページの閲覧は
「長工同窓会東京支部」で検索するか次の URL
を入力 <https://choko-tokyo.sakura.ne.jp>



16